



一期的切除を行った同時性遠隔転移と重複がんの二症例

2023年3月23日

※本コンテンツは、医師の方を対象とし、当医療機関についての理解を深めていただけるよう作成しているものであり、一般の方を対象とする宣伝・広告等を目的としたものではありません。

横浜労災病院 外科の岡崎 靖史(おかざき やすし)です。

外科ではがんを中心とした消化器系疾患、腹部救急疾患について日々の診断と治療を行っています。がんの精査を進めて行く中で、同時性遠隔転移や重複がんなど多臓器に病変が指摘される症例に時折遭遇しますが、当科では切除可能と判断すれば積極的に同時手術を行う方針としています。

今回は、同時切除を行った二つの症例をご紹介します。



岡崎 靖史
消化器外科 部長

当科のがん治療実績

初発UICC病期分類別並びに再発患者数

	初発					再発
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明	
胃癌	38	9	9	22	52	6
大腸癌	32	46	36	18	59	12
肝癌	5	1	7	8	11	3

症例1:交通事故を契機に当院を受診された50歳代の男性

入院時のCTにて偶発的にS状結腸と肝臓に腫瘍性病変を指摘されました。下部消化管内視鏡検査では、S状結腸に全周性2型腫瘍があり狭窄のためスコープが通過できず(図1)、生検結果は中分化型管状腺がんの所見でした。

造影CTでは肝S7に単発の辺縁不整な造影効果の弱い低濃度腫瘍を指摘されました(図2)。

図1. S状結腸に全周性2型腫瘍

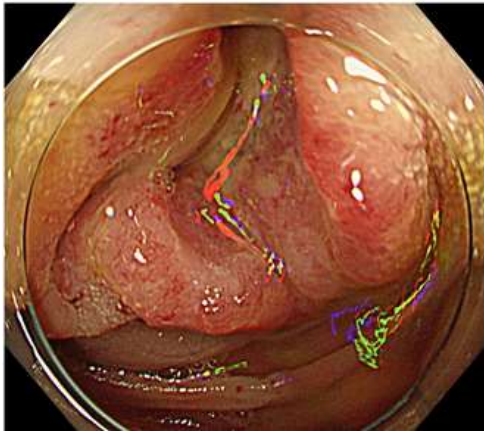


図2. 造影CTにて肝S7に低濃度腫瘍



以上よりS状結腸がん、同時性肝転移の診断で腹腔鏡下S状結腸切除術および肝拡大後区域切除術を行いました。

左結腸動脈を温存したS状結腸切除術を行い、サーキュラーステープラーを用いて口側結腸の側壁と直腸前壁で側々吻合を行いました(図3)。肝切除術は後区域のGlisson鞘とS8Glissonの背側枝を処理し、右肝静脈根部を含めた肝切離を行いました(図4)。

図3. S状結腸切除、吻合

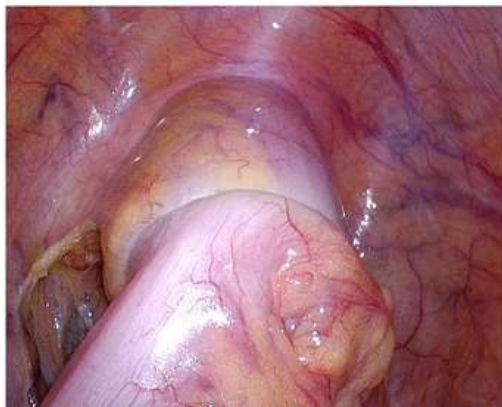


図4. 拡大後区域切除術後の肝切離面

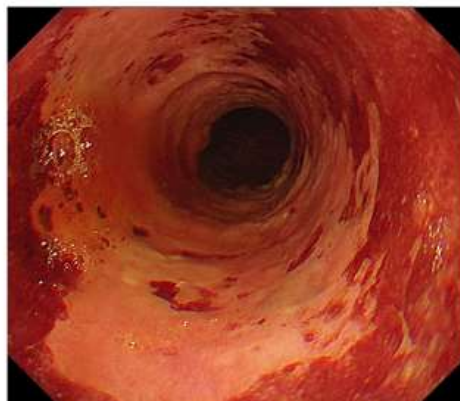


術後の経過は良好で、外傷後のリハビリも行いながら第12病日に退院となりました。退院後は外来通院を継続しており、これまで再発所見を認めておりません。

症例2: 下部食道に食道表在がんを指摘された70歳代の男性

心窩部不快感があり近医で上部消化管内視鏡検査を行ったところ、下部食道に食道表在がんを指摘された70歳代の男性です。ヨード染色で下部食道は全周性の不染帯を呈し、内部に結節状隆起を認めました(図5)。

図5. ヨード染色で全周性不染帯



食道がんはcT1bN1M0 StageIIと診断され、術前化学療法(FP2コース)を行いました。造影CTで肝S4に血管腫が疑われていましたが、術前の造影MRIにて悪性腫瘍の疑いとなりました。EOB-MRIの肝細胞造影相でS4/5の腫瘍は明瞭な低信号域として描出され(図6)、同部位は拡散強調画像で高信号を示しました(図7)。精査の結果は肝内胆管がんの診断となり、食道がんとの重複がんにて同時手術の方針となりました。

図6. 肝細胞相で低信号

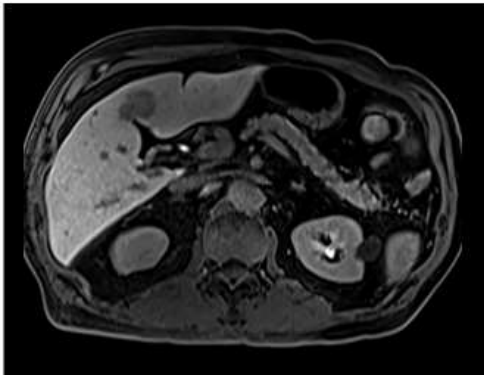
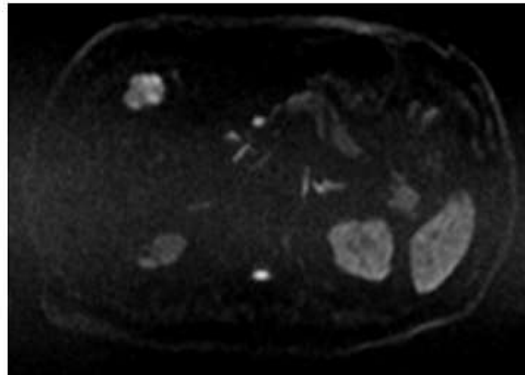


図7. 拡散強調画像で高信号



J字切開にて開腹した後、肝切除はS5aを含め中肝静脈の末梢を途中で切離する拡大内側区域切除術を行いました(図8)。その後、胃管を作製して閉腹し胸腔鏡下で胸部食道切除、Overlap法で胸腔内食道胃管吻合術を行っています(図9)。

図8. 拡大内側区域切除後の肝切離面

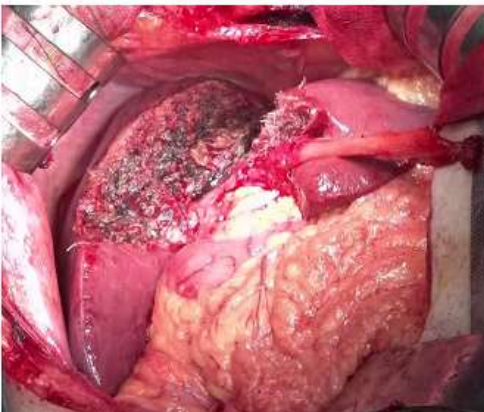
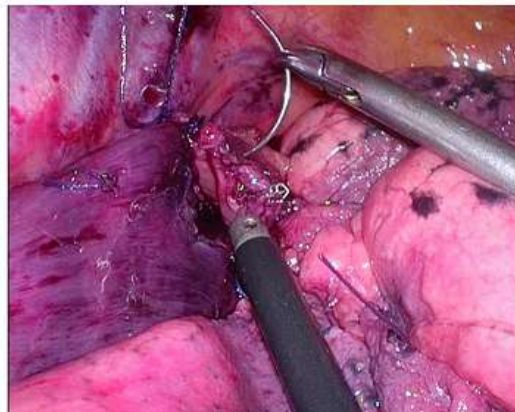


図9. 食道胃管吻合術 (Overlap法)



術中所見で吻合部近傍の胃管の血流不良を認めたために経口摂取を遅らせましたが、明らかな縫合不全や他の術後合併症を認めず、第21病日に退院となりました。本症例は術後1年4か月で肝内胆管がんの残肝(S3)再発を認めましたが、再肝切除術を行い無事退院されています。

合併症率の低下・早期退院に寄与

これまで同時性遠隔転移や重複がんなどの症例で一期的手術の術後合併症率が高いことが報告されています。しかし近年は腹腔鏡や胸腔鏡を併用することでより低侵襲な治療が可能となり、合併症率の低下、早期退院に寄与できていると考えています。

当院はがん診療拠点病院として、消化器内科、外科、腫瘍内科、放射線治療科が協力してがんに対する最適な集学的治療を実践しています。初診時から入院・手術、術後の外来に至るまで、各診療科と綿密な連携を取りながら診療を行っていますので、高度進行がんでお急ぎの症例やご相談ごとなどございましたら、いつでも安心して当院にご紹介下さい。



岡崎 靖史(おかざき やすし)

消化器外科 部長

●専門分野

消化器外科一般(特に内視鏡外科手術)

●学会専門医・認定医

日本外科学会認定医・専門医・指導医

日本消化器外科学会専門医

日本内視鏡外科学会技術認定医(消化器・一般外科領域)

日本消化器内視鏡学会専門医・指導医

日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医

検診マンモグラフィ読影認定医

お問い合わせ先



独立行政法人 労働者健康安全機構 横浜労災病院 地域医療連携室

TEL:045-474-8111 平日 8時15分～17時00分

FAX:045-474-8323

ホームページ:<https://yokohamah.johas.go.jp>